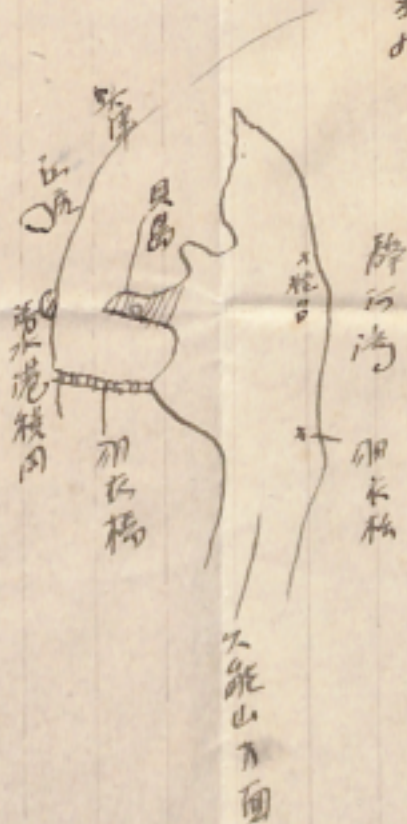


拝啓

以原恩より愚生昨午夜四時遇三保貝島へ
到着候に品川午前十時より多摩川都府前車に
乗り三時平江尻驛より下車徒歩のり約十五分清水
港税関脇に到り居處より渡舟より貝島へ至り則
着候に當貝島は清水港対岸に突出せる松原
と銀の山と砂地ありある一平島の中の一つの岬の名稱なり
此也



当貝島は日蓮宗徒の会合所なる最勝園と稱する鎌倉
時代の域を思ひしむる如く建築物及其の附屬の感化院の
建物その他四五戸の漁夫の住家の外は多岐にわたる
家以農事兼二の代貝同業（但し帝の大學生の勉強の爲
め若し人及び日蓮宗徒の便宜の爲に思ふ）とあり居る家
庭に主なる主人の更米利加へ静岡の茶の輸送に關し各格中
にに残るは主婦と祖父ある六十位の老人と孫二人に於
て當貝島商店もよく郵便切手其の他日用品は皆此の
老人が自今の子さい舟を漕ぎ清水或は江尻まで買
付に参り或は手紙も対岸の清水港税関脇まで此の

先づお禮をいれ一紙をよめ

十二月の朝

外々

順三郎

静岡縣三保貝島

久保田喜吉方

西原順三郎

十二月の朝